

# traceroute x.x.x.x

…通信経路の確認

[トレースルート]

## <利用方法>

あて先までの通信経路アドレスを確認する

## <実行例>

```
Router#traceroute 10.0.0.4
Type escape sequence to abort.
Tracing the route to 34.0.0.4
 0 12.0.0.2 4 msec 4 msec 4 msec
 1 11.0.0.3 20 msec 16 msec 16 msec
 2 10.0.0.4 16 msec * 16 msec
```

## <補足>

上記結果では、3ホップ目にあて先に到達したことがわかる。このコマンドでは、通信ができない時にどこでストップしているのかわかる原因を調べる時に利用できる。tracerouteコマンドはwindowsでいうところのtracertコマンドである。IPアドレスをもつ機器のアドレスを表示する。ping同様に拡張tracerouteコマンドもあるが、当コマンド帳では紹介しない。